

見晴台自治会新聞

2025-9 号
 発 行
 2026.2.16 会 局
 自 治 務
 自 事

どんど焼きは自治会館で住民交流のひと時に
 ー強風に阻まれお焚き上げは中止

新年恒例の行事として「どんど焼き」が一月十一日（日）に計画されていたが、当日は空気の乾燥に加え強風が吹いており、火の粉や煤の飛散による事故を想定しお焚き上げは中止となった。どんど焼き会場が豚汁、甘酒、焼き芋を住民に楽しんでもらう予定を変更し、自治会会館での振舞いが行われた。

「どんど焼き」は正月飾りなどを燃やして年神様を見送る伝統行事で、この火にあたることで無病息災や五穀豊穡などを願う。見晴台では十日朝九時から、見晴台の子サポーターズクラブ（MSC）と自治会役員が町内から正月飾りを回収し、準備を開始。やまばと公園が会場のため行事後に燃え殻はすべて片付けるが、不燃物となった金属類の取り残しを防ぐため、お飾りに使われている針金などの燃えない素材をすべて取外し分別する作業を行った。続いて会場に櫓を組むための大きな竹を二本切り出し、翌日朝の準備に備えた。

十一日は晴天となったが風が強く、野外で火を焚くことで事故が懸念された。朝8時前に自治会館に役員が集まり、お焚き上げは危険であると中止を判断。自治会活動が始まって以来初めての出来事となった。会場で豚汁・甘酒・焼き芋を配布する計画は

進んでおり食材も調達済みのため、自治会館で振舞いを行うことに急遽変更。町内放送で住民に自治会館への来館を呼掛けた。豚汁は十一月

の「わいわい祭り」でも活躍した役員が家族が今回も協力。会館調理室では足りない調理道具を持参し、大鍋三分の材料の下ごしらえから調理・片付けまで対応。役員だけでは実現できない企画となった。集会室、和室にテーブルが並べられ喫食スペースを準備。

九時半に振舞いが始まり住民がお碗と箸持参で代わるがわる来館し、豚汁や甘酒を味わいつつ、居合わせた住民の間にも会話が弾んだ。二時間程で大鍋三つに作った豚汁もなくなり、お焚き上げはできなかったが別の形で住民の親睦を図る行事になった。

※準備、振舞いにご協力いただいたボランティア、ご家族のみなさんどうもありがとうございました。

総会資料作成着手

ー今年度の自治会活動も大詰めへ

四月の通常総会に向け、総会資料の作成が一月の



甘酒も合わせて振舞われた



集会室に準備された喫食スペース

役員会議から始まった。今年度の自治会活動はまだ残っているが、各部会をはじめ会長、副会長、担当役員それぞれが今年度の活動を振り返り、成果確認や反省を行う。更に今年度の活動を踏襲しつつ反省を活かしてより環境に合った来年度の活動となるよう方針や内容を提案していく。来年度部長を任される現副部長にとっても、活動を一緒に考える引継ぎの機会となる。会計は自治会館事務員の協力を得て、監査と収支決算報告の準備をすると共に、各部会から申請された来年度の活動費をまとめ、予算案の検討を進める。これから三月半ばにかけて三回の役員会議を経て総会資料がまとめられる。

新役員面談会

年度切り替わりで一部役員が任期を終え、新役員と交代する。年末に組長に依頼し十名の新役員候補者が選出され、候補者と自治会長、副会長、事務局との面談会が一月二十五日（日）に自治会館集会室で行われた。当日は七名の候補者が参加し、自己紹介、自治会の役割や各部会の活動内容について説明、質疑、部会への興味ヒアリングを行った。参加できなかった三名も別日程で面談を行い、面談の情報を基に配属される部会が決定される。

事務局より ー年度末までの自治会行事ー

今年度残りの主な自治会行事をお知らせします。

- ・ 二月十五日（日） ボランティア清掃
- ・ 三月十四日（土） 次期組長・幹事、新役員研修会
- ・ 三月二十九日（日） ボランティア清掃

引続きご協力お願いいたします。